

平成 30 年度 保健文化賞受賞のご報告

先月、本会が第 70 回の保健文化賞を受賞し、平成 30 年 10 月 10 日に東京の明治記念会で開催された授賞式および祝賀会への出席と、翌 11 日には皇居を訪問し天皇・皇后両陛下に拝謁をさせていただきました。

保健文化賞は、昭和 25 年に第一生命保険株式会社の社長が公衆衛生の向上を重視し、保健衛生の分野において实际的な活動や研究を行い、優れた業績を上げた団体や個人に感謝をささげる意味で創設されました。厚生労働省ならびに朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の後援の下、今日この方面では最も権威のある賞とされています。今回は(公社)日本助産師会より推薦を頂き、本賞の公募に応募して、採択されました。諸先輩方のご苦労しながらバトンをつなぎ、昭和 37 年から続いている鹿児島中央助産院での助産を通じた地域貢献は、本会の誇りと考えます。今回の受賞理由には高麗マンションの空き部屋を利用して始め、伊敷の新会館では鹿児島県からの助成金を頂いて建設し、現在運営している宿泊型産前産後ケアセンターの事業が高く評価されました。離島を抱える鹿児島県では、出産施設の閉鎖によって居住地を離れて出産をせざるを得ない方がおられます。24 時間助産師が常駐している助産院に併設されたケアセンターは、利用者への安心・安全なケアを提供して地域貢献していると理解して頂いた結果です。



宇都会長は前列中央



左から山本日本助産師会会長、
稲垣第一生命保険(株)社長、
宇都会長、森前会長